

令和6年度事業報告

公益目的事業

I 国際理解の推進

1 施設の運営及び情報収集提供機能の拡充

(1) 国際交流プラザの運営及びライブラリーの整備

県から委託を受けて運営している「国際交流プラザ」が県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう、海外渡航や留学情報、アジア・太平洋諸国をはじめとする世界各国の最新情報及び語学学習や異文化理解に役立つ図書等の整備のほか、海外の新聞や雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

図 書	2, 0 1 5 冊
ビデオ・DVD	1 0 7 巻
外国語新聞	2 紙
外国語雑誌	4 紙

(2) 情報収集発信の充実

ア 幅広い情報収集提供

市町村や国際交流団体、在住外国人等との交流を通じて、国際交流に関する幅広い情報を収集・提供した。

イ IT活用による情報発信

協会のホームページやフェイスブックを活用し、県民及び在住外国人に多種多様な情報を提供した。

ウ ワーキングホリデーセミナーの開催

若者等の海外体験の機会を拓げるため、「ワーキングホリデーセミナー」を開催し、海外留学等に関する情報提供を行った。

開催月日	令和6年8月10日（土）
場 所	カクイックス交流センター 研修室第4
参加人数	11名

エ 相談・支援体制の充実

国際交流や多文化共生に関する相談等に応じる相談員を配置し、県民や在住外国人からの相談に応じた。

また、県から委託を受けて、在住外国人等の在留資格、雇用、医療、福祉などの相談に多言語で応じる外国人総合相談窓口の運営を行い、適切な情報の提供に努めた。

これらの各種相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

相談件数	429件（うち外国人総合相談窓口での件数 371件）
------	----------------------------

2 広報出版活動の充実

(1) 広報誌の発行

ア 日本語情報誌「暖流（DANRYU）」の発行

県内の国際交流活動情報を盛り込んだ県民向けの日本語情報誌を発行し、ホームページに掲載した。

発行回数：年1回

イ 英語情報誌「South Wing」の発行

県内在住の外国人を対象に鹿児島県の日常的に必要な情報を提供するため英文情報誌を発行し、ホームページに掲載した。

発行回数：年1回

ウ 「国際交流ひろば」の発行

当協会や県内交流団体等のイベント情報のほか、鹿児島県で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等の紹介や世界各地で活躍する鹿児島に縁のある団体等の紹介のほか、鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所等の情報を盛り込んだ情報誌を発行し、関係機関・団体へ送付するとともに、ホームページ、フェイスブックに掲載した。

発行回数：年4回	発行部数：600部/回
----------	-------------

3 国際理解事業の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

ア ベトナム語入門講座の開催

県内に在住する外国人のうち、その数が最も多いベトナム人の母国に関する理解を深め、多文化共生の地域づくりへの関心を高めるため、ベトナム人講師による、同国の生活、文化、ベトナム語の挨拶などの紹介のほか、特別講座として、ベトナムの料理教室を開催した。

ベトナム語入門講座		特別講座（ベトナム料理教室）	
実施回数：15回	参加者：181名（延べ）	実施回数：1回	参加者：20名

イ ワールドトークサロンの開催

シンガポール、アイルランド、中国及び韓国出身等の県国際交流員・外部講師が講師となり、県民を対象として、英語、中国語及び韓国語による異文化や海外事情などをテーマとする意見交換会を行った。

英 語	
シンガポール	アイルランド
開催日：毎週金曜日（土曜日：月1回）	開催日：土曜日：月2回
実施回数：16回 参加者：延べ227名	実施回数：14回 参加者：延べ207名

中 国 語	
開催日：毎週金曜日（月4回）	
実施回数：34回	参加者：延べ164名

韓 国 語	
開催日：毎週水曜日（月4回）	
実施回数：34回	参加者：延べ228名

(2) 国際理解プログラム事業の実施

「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

青年海外協力隊や国際協力、海外事情等の理解促進を図るため、青年海外協力隊OB及び県内大学等の留学生を県内の小中学校に講師として派遣する事業を、青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び協会で組織する実行委員会で実施した。

また、同事業の今後の周知を図るため、かごしま国際交流センターに当事業の内容を紹介するパネルを設置・展示し、広報を行った。

派遣学校	40校
派遣人数	延べ 56名
参加者	2,164名

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して、民族衣装や国旗などの貸出しを行うとともに、その整備・充実を図った。

民族衣装	10回（学校2，自治体1，各種団体等7）
国旗	7回（学校0，自治体3，各種団体等4）
地図	1回（学校0，自治体0，各種団体等1）

Ⅱ 国際交流活動の展開

1 海外との相互交流の推進

(1) 鹿児島・全北特別自治道（旧全羅北道）文化交流の実施【令和6年度は受入】

本県と幅広い交流を行っている韓国全北特別自治道との相互理解・交流を深めるため、それぞれの地域の文化や観光、歴史等に関する講座を隔年で交互に実施することとし、令和6年度はカクイックス交流センターにおいて、韓国の伝統的な紙である韓紙（はんし）を使ったランタンや宝石箱づくりの体験を行うとともに、講座では全北特別自治道の紹介を行った。

実施時期	令和6年8月3日（土）
実施場所	カクイックス交流センター1階 レクチャースペース
参加人数	72名（1部・2部合わせて）

(2) 海外大学日本語研修生受入可能性の情報収集

本県と交流のある国や地域で日本語を学んでいる大学生等に、鹿児島で日本語及び日本文化を学習する機会を提供し、本県と友好国・地域との交流促進を図るため、受入可能性などの情報収集を行った。

(3) 留学情報の提供及び相談

世界主要国の海外生活、海外事情、ワーキングホリデー等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行った。

また、ワーキングホリデーに関するセミナーを実施した。（再掲）

相談件数	11件	※ワーキングホリデーに関する相談
------	-----	------------------

2 在住外国人との交流促進

(1) 地域の国際交流活動への協力

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う際の企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援による協力を行った。

後援件数	10件
------	-----

(2) 地域の国際交流活動への参加

市町村や国際交流団体等と連携し、県内各地で行われるイベント等に国際交流ブースを出展し、地域における在住外国人と一般県民との交流促進を図った。

開催日	場 所	イベント名	内 容
令和6年11月17日(日)	さつま町宮之城運動公園	さつま町産業祭 & JA農業祭	パンフ配布, ベトナムのドンホー塗り絵, 物作りほか

3 国際交流組織等との連携・支援の強化

(1) 民間団体等の国際交流・協力活動への助成

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し、助成を行った。

助成件数	6件
助 成 額	577,432円

(2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体との連携

ア 意見交換会の参加

国際交流等に関する共通の課題や問題を抱える市町村等の職員を対象とした県主催の多文化共生社会推進会議に参加し、災害時の外国人支援等に係る事例発表を行うとともに、問題解決のための方策の検討を行うグループワーク等に参加した。

【北薩地域】

開 催 日	令和6年10月29日(火)
開 催 場 所	薩摩川内市国際交流センター 会議室
参加市町等	29市町・団体 58名

【南薩地域】

開 催 日	令和6年11月15日(金)
開 催 場 所	南さつま市民会館 第2会議室
参加市町等	21市町・団体 59名

【大隅地域】

開 催 日	令和7年1月21日(火)
開 催 場 所	鹿屋商工会議所 会議室
参加市町等	40市町・団体 69名

イ 鹿児島県の国際交流・協力団体情報の拡充

国際交流団体等のネットワークの一助とするため「国際交流・協力団体情報」の更新等を行い、各団体等の状況把握に努めるとともに、協会ホームページに掲載して、それぞれの団体の活動を紹介した。

(3) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会等に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

4 国際交流ボランティア制度の拡充

県民や在住外国人の国際交流への参加を促進するため、講座や広報誌等での周知・広報により各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、各団体等からの要請に基づき語学ボランティアを派遣した。

登録者の状況	語学ボランティア	64名
	ホストファミリーボランティア	22家庭
活動の状況	語学ボランティア活用	14件(22名)
	ホストファミリーボランティア活用	0件(0家庭)

5 旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

県の委託を受けて、カクイックス交流センター内に設置されているパスポート窓口及び北薩地域振興局において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。また、県民サービスの一環として、旅券用写真撮影・販売業務等を行った。

項目	内容	備考
旅券交付件数	23,002件	県全体

Ⅲ 多文化共生社会の推進

1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

(1) 日本語・日本文化等理解講座の開催

ア 在住外国人のための日本語・日本理解講座

県内に居住している外国人を対象に、鹿児島での生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図るため、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等を学ぶ講座を実施した。

クラス	開催日	講座回数	受講者数(人数/回)
午前の部	毎週水曜日(5月～2月)	30回	23名
夜間の部	毎週木曜日(5月～2月)	30回	26名

計18か国の方が受講

イ 日本語・日本文化等理解講座

在住外国人が生活に必要な日本語能力を身に付けられるよう、ICTを活用した日本語教育の支援推進に向けた取組をモデルとして実施した。

クラス	開催日	講座回数	受講者数(人数/回)
オンライン	7/28, 8/4, 8/11, 8/18, 8/25	5回	15名

計5か国の方が受講

(2) 日本語教育人材養成講座の開催

在住外国人が生活に必要な日本語能力を身に付けられるよう日本語教師や日本語ボランティア等を確保するため、日本語教育の入門レベルから教師レベルまでの対象者別講座をオンラインで開催し、受講者の情報をリスト化した。

ア 日本語ボランティア入門講座

実施日	講座内容	参加者数
令和6年 9月 8日(日)	オリエンテーション	15名
令和6年 9月15日(日)	多文化共生とは	12名
令和6年 9月22日(日)	地域日本語教室の役割	14名

イ 日本語ボランティアスキルアップ講座

実施日	講座内容	参加者数
令和6年 9月29日(日)	やさしい日本語とは	14名
令和6年10月 6日(日)	外国語としての日本語①	15名
令和6年10月13日(日)	外国語としての日本語②	13名
令和6年10月20日(日)	オンライン日本語教室を見学してみよう	13名
令和6年11月10日(日)	オンライン日本語教室を見学してみよう	12名
令和6年11月24日(日)	これから私にできること	13名

ウ 日本語教師スキルアップ講座

実施日	講座内容	参加者数
令和6年12月1日(日)	お困りごと相談会①～情報交換会～	3名
令和6年12月8日(日)	お困りごと相談会②～対策を考える～	3名

(3) 多文化共生社会促進事業の実施

地域の在住外国人をサポートする人材を育成するため、県内の自治会やその他団体等からの依頼に基づき、多文化共生の取組事例や海外の文化、「やさしい日本語」など多文化共生に係る講師を派遣した。

実施日	区 分	団 体 名	参加者数
令和6年 6月18日(火)	多文化共生アドバイザー	出水市	3名
令和6年 8月 3日(土)	多文化共生アドバイザー	出水市	21名
令和6年 8月 6日(火)	やさしい日本語	出水市	50名
令和6年 9月 7日(土)	海外の文化	鹿児島県保健師会	24名
令和6年 9月26日(木)	やさしい日本語	指宿白水館他	30名
令和6年10月20日(日)	海外の文化	垂水市	12名
令和6年11月12日(火)	やさしい日本語	霧島市	45名
令和6年11月23日(土)	海外の文化	大和村	50名
令和6年12月 8日(日)	海外の文化	南九州市国際交流協会	20名
令和7年 1月31日(金)	海外の文化	鹿屋保健所	60名

(4) 日本語サロン「おしゃべりひろば」の開催

日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象に、フリートーキングを主な内容とする「おしゃべりひろば」を開催し、在住外国人同士のネットワークづくりや日本語会話の上達を図った。

月 日	内 容	出身国数	人 数
令和6年 7月13日(土)	冠婚葬祭 日本のしきたり	10か国・地域	13名
令和6年 9月14日(土)	お月見の会	7か国・地域	11名
令和6年10月26日(土)	自転車の交通安全	2か国・地域	10名
令和7年 1月19日(日)	ウォーキングサッカー	9か国・地域	53名

(5) 多文化共生の地域づくりの推進

ア 災害時の外国人支援のための訓練への参加

奄美市で開催された県総合防災訓練への参加を通じて、在住外国人の災害に対する意識を高めるとともに、関係行政機関や団体など外国人を支援する側に対して、避難所における外国人への対応や、多言語での情報伝達の手法などの訓練・助言等を行った。

イ 災害時外国人支援ボランティア養成講座の実施

災害時や避難時に必要な基礎知識や通訳・翻訳に関するスキルを有する災害ボランティアを養成する講座を対面方式とオンライン方式でそれぞれ開催した。

<対面方式>

開催日	令和6年7月7日（日）
場所	カクイックス交流センター 4階 大研修室4
参加人数	ボランティア参加者：17名、外国人（避難者役）：7名
内容	・講話（災害時に必要とされる外国人支援） ・やさしい日本語について ・ロールプレイ演習（外国人と避難所運営者を仲介する通訳・翻訳訓練）

<オンライン方式>

開催日	令和6年7月20日（土）
場所	カクイックス交流センター事務室、オンライン（Zoom）
参加人数	ボランティア参加者：13名
内容	・多文化クイズ、多文化防災ワークショップ ・講話（災害時に必要とされる外国人支援） ・やさしい日本語ワーク

(6) 地域日本語教育ネットワーク会議の開催

県内の地域レベルで行われている日本語教室の講師等を対象に、外部講師により指導技術の向上や日本語教室の運営に役立つ情報を提供するとともに、課題等について意見交換を行った。

開催日	令和6年10月10日（木）
場所	カクイックス交流センター 大研修室1
参加人数	32名（うち1名はオンライン）
内容	・事例発表 ・ワークショップ ・県多文化共生社会の推進に向けた取組

(7) 災害時に助け合えるまちづくり事業

県の委託を受けて、地方における災害時の多文化共生の在り方について理解を深めるため、出水市と連携し、在住外国人に対して台風、大雨、地震などの災害や防災対策等を学ぶ講座を開催した。また、「やさしい日本語」の講座やワークショップを開催し、在住外国人との日常的な交流や災害時のサポート手法を学ぶ機会を提供した。

<出水市>

開催日	令和6年12月8日（日）
場所	出水市多目的ホール，会議室
参加人数	延べ54名（外国人及び周辺の外国人支援に興味のある日本人）
内 容	【外国人向け講座】 ・日本，鹿児島県の災害について 【日本人向け講座】 ・やさしい日本語講座 【外国人・日本人合同講座】 ・地域の防災対策・非常持出グッズについて ・ワークショップ（避難場所・避難ルート・危険箇所の確認）等

(8) 外国人住民からの相談対応研修の実施

日常業務において在住外国人の相談に対応している行政機関や福祉団体・各種学校等の担当者を対象に，在住外国人からの相談の特徴，避難民相談窓口の状況，通訳ボランティアとの連携等について学び，在住外国人との効率的な相談手法を習得した。また，外国人総合相談窓口が日常的に連携を行っている機関団体間のネットワークの形成が形成され，当相談窓口の機能強化が図られた。

開催日	令和6年12月12日（木）
場所	カクイックス交流センター 大研修室
参加人数	56名
内 容	・【講話】熊本市外国人総合相談プラザの活動より ・関係機関の取組について（鹿児島県行政書士会）など

(9) 相談・支援体制の充実（外国人総合相談事業）（再掲）

県から委託を受けて，専任の相談員2名を配置して，在住外国人等からの相談などに多言語で応じる「外国人総合相談窓口」の運営を行い，在住外国人の在留資格や就労，医療，日本語学習等に関する各種相談に対応した。併せて，県民の留学，国際交流に関する相談への対応や情報提供等を行った。

2 異文化交流の推進

(1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催

国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深めるため，各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催した。（来場者数：223名）

区分	開催月日	参加者	参加者出身国・地域
予選	令和7年1月11日（土）	30名 (10か国・地域)	ネパール(11)，ミャンマー(6)，ベトナム(3)，中国(3)，スリランカ(2)，アメリカ，インドネシア，カメルーン，カナダ，ソロモン諸島
本選	令和7年1月25日（土）	10名 (8か国・地域)	ネパール(2)，ベトナム(2)，中国，スリランカ，アメリカ，ミャンマー，カメルーン，カナダ

(2) 外国語・文化講座等の開催（再掲）

IV 国際協力の推進

1 留学生への支援

(1) 留学生研究活動費の助成

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費への助成を行う事業で、令和6年度は留学生からの申請がなかった。

(2) 外国人留学生交流活動費の助成

留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費への助成で、令和6年度は留学生会等からの申請（2件）があった。

(3) 留学生支援資金貸付制度の運営

生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする留学生に、無利息での資金の貸付を行うもので、令和6年度は留学生からの申請がなかった。

2 国際協力に対する理解の促進

(1) 「青少年国際協力体験事業」の実施

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、国際協力に対する理解や国際性豊かな人材を育成するため、県内の中・高校生を東南アジアの発展途上国に派遣し、ホームステイや現地学校等での交流、青年海外協力隊の活動現場の視察を行う事業を実施した。

派遣期間	令和6年7月21日（日）～7月28日（日）
派遣国	カンボジア
派遣人数	22名（うち中・高校生16名）

3 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構との連携

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

(2) 在外県人会への情報提供

南米の在外鹿児島県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしまや県政かわら版等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。

また、南加鹿児島県人会設立125周年記念に当たり、南加鹿児島県人会が行う現地での式典に当協会の副会長が参加し、協会から記念品等を贈呈するとともに、各在外県人会会員との交流を深めた。

(3) 在外県人会活動への支援

南米の3県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を各県人会に委託した。

委託先	ブラジル、アルゼンチン、ペルー
-----	-----------------

収益事業

県から委託を受けている旅券発給業務補助に付随して、旅券交付申請者の利便性を考慮し、次の事業を行った。

- 1 旅券発給に係る収入印紙・収入証紙の販売（再掲）
- 2 旅券用写真の撮影・販売（再掲）